

お葬式の開式のアナウンスをあ
まり意識したことはないかもしれ
ません。司会者の方も、ほとんどが
「葬儀並びに告別式を開式いたし
ます」と言っていると思います。細
かいことかもしれませんが、
浄土真宗のお葬式は「告別」
ではありません。

「告別式」とは言わない

こくべつしき

「告別」とは、故人に別れ

を告げるという意味です。ここに
は、「もう一生会えない。永遠の別
れ」というニュアンスがあります。
しかし、浄土真宗の告別には、一時
的な別れという意味があります。
永遠に別れた場合、もう二度と会

うことはできませんが、一時的な
別れと考えると、また再会できる
という意味が出てきます。そこに
この私も後からついていきます、
という意味が込められているので

度と会いたくない」とおっしゃっ
た方がおられました。あまり好き
ではない人だったのでしょう。確
かに自分の周りにはあまり好まし
くない人もいるかもしれません。
しかし、好き嫌いという好みを超
えた価値観を示しているのがこの
告別の教えです。

す。この世の中から一時的に別れ
を告げ、仏の世界でまた会いまし
ようという世界観が浄土真宗の
「告別」です。

私は以前、また会えるという告
別のお話をしたら、「あの人とは二
この世の感覚で言うと、会いた
いと思う人には会うことができます。
一方、会いたくないと思っている
人には会いません。なぜなら、私が
その人を嫌いという感覚がそこに
ないからです。それが仏の世界と
いう考え方です。